

存

六年
画数 6
筆順
一 ナ オ 存
クン



成り立ち

「在(5年720)る」という意味の「在」の「ナ」と、この字の発音ソンを表した「孫」の「子」とを組み合わせて作った字です。

「孫が在る(存在する)」という意味を表した字で、「現に生きている」こと、また、「今、実際にそこにある」という意味に使われます。例存在、生存、共存、存亡、存否。

また、「心の中に「ある」「思う」という意味にも使われます。例存分、存外。

使い方

▽世界には科学では説明できない不思議なことが存在しているといわれます。皆さんも大きくなったら、こうした不思議を追求してごらん下さい。きっと興味に満ちた研究になることでしょう。

▽いまや世界の国々は、共存共栄をはかって行くべきです。自分の国だけが栄えれば良いという考え方は、過去のものとならなければなりません。

熟語例

- ▽存在(そこにあること。また、そこにあるもの)
- ▽生存(生きていること。「飛行機が墜落して、生存者は三人だけだった」などというふうには、つかいません。)
- ▽共存(二つ以上のものが、同時に存在すること。「キョウソン」とも読みます。)
- ▽存亡(生存するか亡びるか。「今は危急存亡の秋だ」などというふうには、つかいません。)
- ▽存否(あるかないか。いるかないか。また、生きているかないか。)
- ▽存分(思いきり。十分。「思う存分、食べたので満足した」などというふうには、つかいません。)

使い方

▽ぼくが一番尊敬しているのは、おとうさんです。毎日、朝早く起きて、夜遅くまで働いて来るおとうさんは、立派だと思います。

▽うぬぼれと自尊心とは違います。うぬぼれや虚栄心は人をだめにしてしまいますが、自尊心は人を支えてくれます。自尊心のない人は、人からも尊敬されません。

熟語例

- ▽尊敬(尊び敬うこと。)
- ▽尊重(尊び重んじること。「あなたの立場を尊重して、こうすることにしました」などというふうには、つかいません。)
- ▽尊崇(尊び崇めること。「神仏を尊崇する」などというふうには、つかいません。)
- ▽自尊(自分を大切に、誇りを持つこと。)
- ▽尊称(尊敬の気持ちを表す呼び名)
- ▽尊顔(相手の顔を敬つていう言葉。「うるわしいご尊顔を押し恐れ至極に存じます」などというふうには、つかいません。)
- ▽尊父(相手の父親を敬つていう言葉)

尊

六年
画数 12
筆順
ソ 酉 酉 酉 尊
クン

たつと日い日ぶ
とうと日い日ぶ

成り立ち



酒つぼの形を表した「酉」と、それを「開ける」意味の「八」と、手の形を表した「寸」とを組み合わせて作った字です。

「酒つぼを開けて、貴人を「もてなす」意味を表した字ですが、「貴人を「たつとぶ」意味に使います。例尊敬、尊重、尊崇、自尊。

「たつとい」という意味にも使います。

また、尊敬する人に関する物につけて使います。例尊

称、尊顔、尊父、尊名。

また、尊敬する人や神仏に直接つけて使います。例釈

尊、地藏尊。